

平成28年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名				担当 部課	部課コード	080100	2998-9385		
事業コード	所沢地区病院群輪番制病院運営事業				保健医療課				
080112									
開始年度 昭和55年度 → 終了年度 年度				グループ	地域医療推進グループ				
事業の概要	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託 + 附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	埼玉県地域保健医療計画、所沢市保健医療計画			所沢地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱				
	関連・類似事業	在宅当番医制実施事業、小児科救急医療病院群輪番制事業							
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針	地域医療・救急医療の充実				
	事業開始の背景	休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するために昭和55年より実施。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	夜間及び休日・祝日の二次救急患者(入院手術を必要とする重症患者)の医療体制を確保するため。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成26年度	647,121 人				
	所沢市、狭山市、入間市の市民			平成27年度	646,784 人				
	事業の具体的な内容及び実施方法								
所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における14か所の二次救急医療施設の病院群輪番制方式による「休日・夜間診療」の実施に対し補助金を交付する。 補助金額は、3市の人口割、利用者割、均等割によって按分し、狭山市、入間市がそれぞれの負担金を所沢市に納付する。 補助金交付にあたっては、所沢市が一括して所沢市医師会(3市医師会の窓口)に交付する。									
〔受入医療機関〕 西埼玉中央病院、所沢市市民医療センター、所沢中央病院、所沢第一病院、圏央所沢病院、所沢明生病院、埼玉西協同病院、狭山中央病院、狭山厚生病院、至聖病院、埼玉石心会病院、入間川病院、豊岡第一病院、原田病院									
〔診療時間〕 夜間...午後6時～翌朝8時。休日...午前8時～午後6時。									
経費	会計種別	一般会計		平成26年度(千円)	平成27年度(千円)	平成28年度(千円)			
	予算現額			31,045	31,116	31,045			
	決算(見込み含む)			31,045	31,116				
	(非常勤特別職員)(臨時的任用職員)	(0.00人)	(0.00人)	(0.00人)	(0.00人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.22人	1,919	0.20人	1,732				
	事業費合計		32,964	32,848					
	財源内訳	一般財源	15,753	15,636	13,885				
	国・県支出金	0	0	0					
その他(狭山市・入間市負担金)	17,211	17,212	17,160						
実績	項目名	項目説明		単位		H26	H27	H28見込み	将来目標
	活動実績	診療計画日数	夜間(365日) + 休日昼間(日曜・祝日・振替休日・年末年始)	日		437	438	437	437
		診療実施日数		日		437	438	437	437
成果	項目名	項目説明		単位		H26	H27	H28目標値	将来目標
	成果指標	診療実施率	目標値: 診療計画日数 実績: 診療実施日数	日	目標値	437	438	437	437
					実績	437	438	☒ 「実績」拡大図る ☐ 「実績」縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	3市間で情報交換を行い、小児科救急医療病院群輪番制との負担金算定の整合等について課題を共有するとともに、今後も二次救急医療体制を確保するため相互に協力していくことを確認した。								
評価	評価	☒ 継続 ☐ 終了	事業実施方法(複数選択可)	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 改善・効率化 ☒ 現状維持 ☐ その他	理由	二次救急医療の確保は、安心して暮らしていくためには欠かせないものであり、引き続き事業を継続していく必要がある。			
		次年度予算		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持	理由	今後も各医療機関の協力のもと、当事業を円滑に運営していくためには、継続して支援していく必要がある。			
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	評価	入院や手術を必要とする重症患者に対応する、二次救急医療を担う各医療機関において、円滑に事業が実施されているところである。				救急医療体制の整備を通して市民が安心して暮らせる環境を確保するため、今後も本事業をはじめ、在宅当番医制事業、小児科救急医療病院群輪番制事業等を通じて休日・夜間診療体制の充実を図っていく。			
評価日	H28.8.18		評価者職氏名	保健医療課長 岸 健次					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動			規制を受ける環境法令等	緊急事態	